

横芝光町・匝瑳市 出前リーダーサポート塾

平成30年8月1日(水)・2日(木)

8月1日に横芝光町で、2日に匝瑳市で出前リーダーサポート塾が開催されました。今年度の本センターカリキュラム開発部研究開発担当の出前リーダーサポート塾としては7か所目、8か所目の開催となりました。横芝光町は、横芝光町町民会館(17名の参加)で、匝瑳市は、匝瑳市市民ふれあいセンター(午前22名、午後20名の参加)で、小中学校の中核を担う先生方による熱心な研修が行われました。

研修内容：横芝光町 「新学習指導要領について」 「学校・家庭・地域との連携」
匝瑳市 「新学習指導要領について」 「不登校対応について」

研修の様子

「新学習指導要領について」

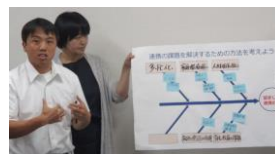
新学習指導要領についてキーワードを確認し、「変化が激しく予測困難な社会を生き抜く子供たちに2030年の社会を想定して身に付けさせたい資質・能力とは何か?」について、ブレインストーミング、ピラミッドチャートで演習を行い、さらにその具現化を考えました。



「学校・家庭・地域について」

家庭や地域と連携することの必要性、学校が家庭や地域と連携するためにどのような取組をしているか、確認しました。

その後、ブレインストーミングで取組の課題を出し合い、フィッシュボーンで、それぞれの課題解決についてグループで話し合いをしました。



「不登校対応について」



不登校の現状を理解した上で、未然防止、初期対応及び自立支援についてのそれぞれの対応の仕方について考えました。

特に、自立支援については、不登校になった児童生徒への対応として事例を基に、「見立てシート」を活用しながら見立てを行い、参加者全員で協議しました。



〈参加者の声〉

超スマート社会に向け、今から資質・能力を身に付けさせるための授業を考え、展開しなければならないと考えました。

これからの時代に求められる資質・能力についてワークショップを行い、考えを深めることができました。また、実際に思考ツールを体験することができてよかったです。

フィッシュボーンを通じた学習を児童にやらせてみたいです。

講話を聞き、演習をするという形式がとてもよかったです。実際に話す、聞く、表現するという活動はとてもいいと思いました。

不登校の児童がいたら、きちんと見立てを行い、様々な関係機関にも協力してもらいながら、対応できるようにしていきたいと思えます。

実際に見立てシートを作成し、その子の背景を知ることは、その後の支援をするためにとても重要だと思いました。たくさんの意見を伺い、組織での対応の大切さも実感できました。